

SDGsこの一年 そして今、すべきことは？



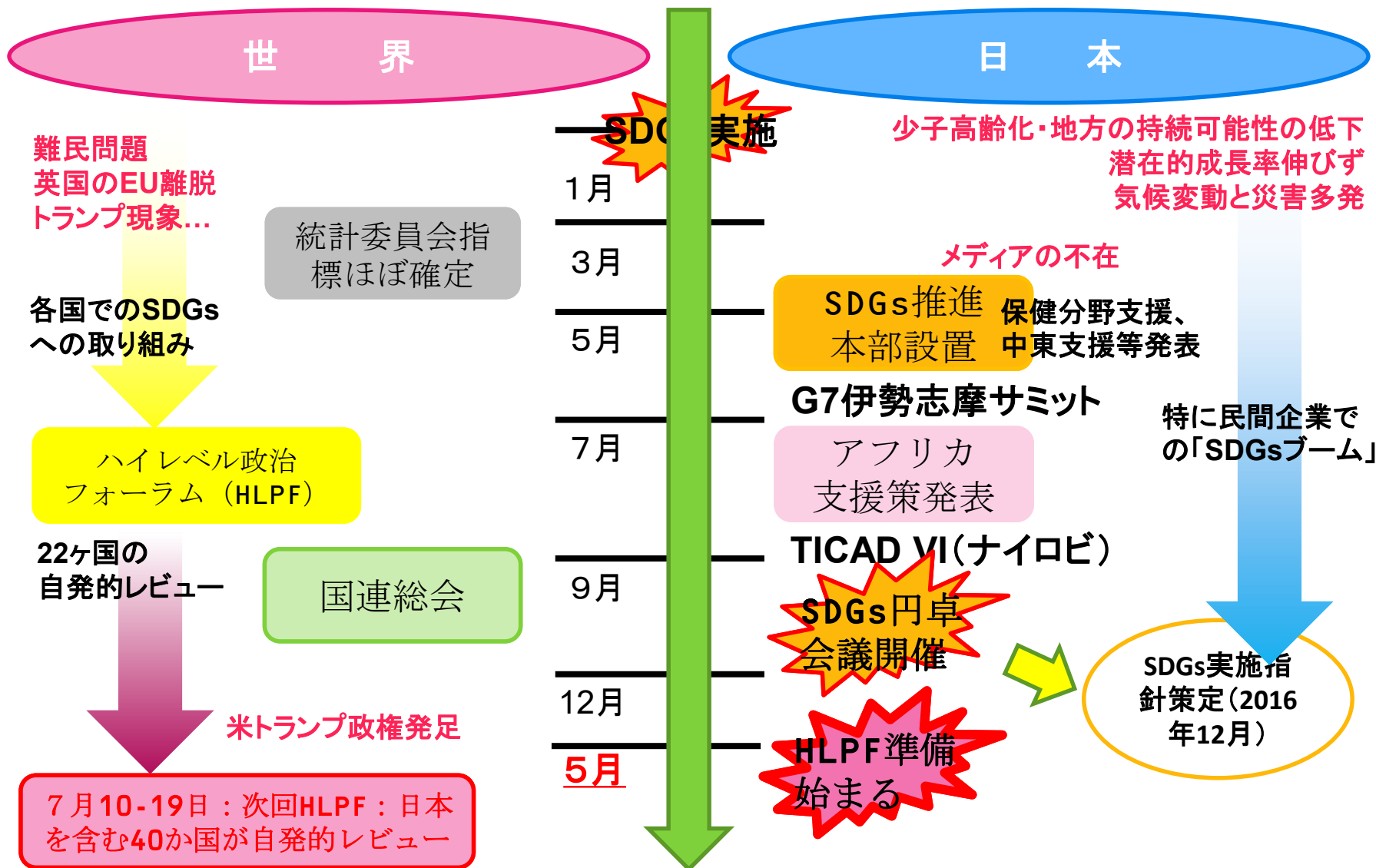
**TRANSFORMING
OUR WORLD:**

我々の世界を変革する



**SDGs市民社会ネットワーク
事務局 稲場 雅紀**

SDGs策定から1年 何が起こったか？



(復習) 2030年にむけた世界の指針 「持続可能な国際目標」(SDGs)



期限は**2030年**、**17**のゴール
169のターゲット。

「ふたこと」で表すと...

- 1** 世界から貧困をなくす。
- 2** 「つづかない世界」を
「つづく世界」に変える。

2015年9月

国連サミットで採択

「つづかない世界」から「つづく世界」への転換をめざして、3年間の議論の末、世界193カ国のリーダーが集まって採択。



2012～15年：世界が4年かけて 議論してできたSDGs

**持続可能な
開発目標
2015-30**

193ヶ国の首
脳が採択

2015年9月 国連総会
ポスト2015サミット

2015年1～7月 政府間交渉

2015年7月 第3回国連開発
資金会議(エチオピア)

2014年12月
事務総長
統合報告書

2014年7月
資金専門家委員会
報告書

2014年7月
オープンワーキング
グループ報告書

資金専門家
委員会
(ICESDF)

2013年～14年
国連 オープン・
ワーキング・グループ

つづく世界を
目指す
SDGsの流れ

2012年6月
リオ+20サミット

途上国の
貧困をなくす
MDGsの流れ

2013年5月
ハイレベルパネル
報告書

2012年：国連
ポストMDGs
ハイレベルパネル

日本も取り組む必要がある SDGsの「17ゴール」

★あらゆる貧困をなくす

1. あらゆる場所・形態の貧困の終焉。
2. 飢餓の終焉、栄養の改善、持続可能な農業の推進。
3. あらゆる年齢の全ての人の健康な生活の確保、福祉の推進。
4. 全ての人への衡平な質の高い教育と生涯学習機会の提供。
5. 世界中の女性と少女の活躍推進、ジェンダー平等の実現。
6. 全ての人への持続可能な水の使用と衛生の保障。

★環境を守り育てる。

12. 持続可能な生産と消費のパターンの促進。
13. 気候変動とその影響の軽減のための緊急対策の実現。
14. 海、大洋と海洋資源の保全と、持続可能な利用の促進。
15. 陸域生態系の保護と持続可能な利用促進、生物多様性の喪失の阻止。

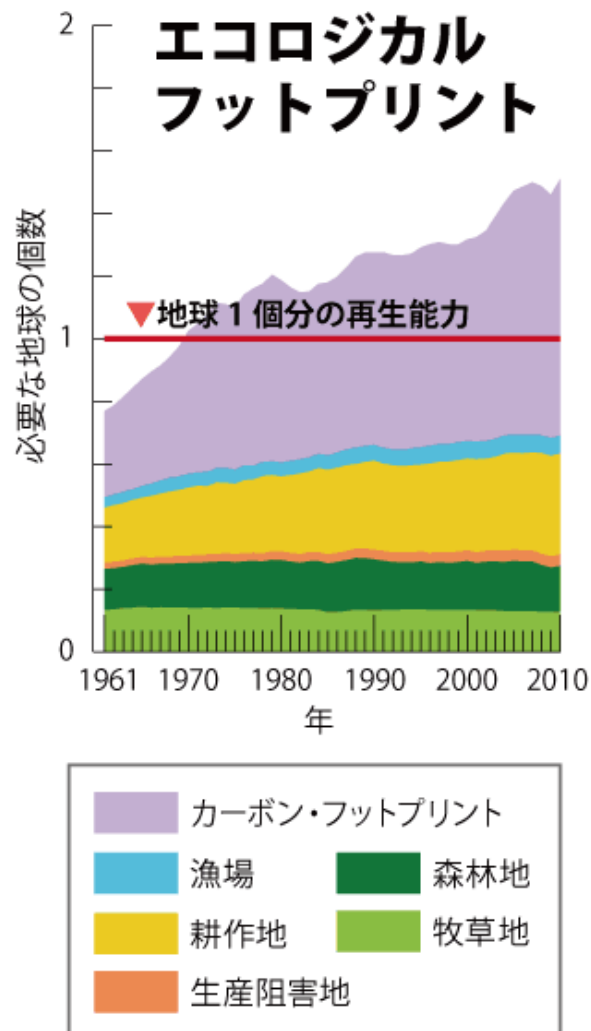
★「つづく経済」をつくる

7. 全ての人の、安価で信頼できる持続可能な現代的エネルギーの保障。
8. 包摂的で持続可能な経済成長の促進、全ての人の完全で生産的、適切な雇用の提供。
9. 強くしなやかなインフラ構築、包摂的で持続可能な産業化の促進、イノベーションの拡大。
10. 国内と国家間の不平等の減少。
11. 包摂的で安全、持続可能な年と人間居住の実現。

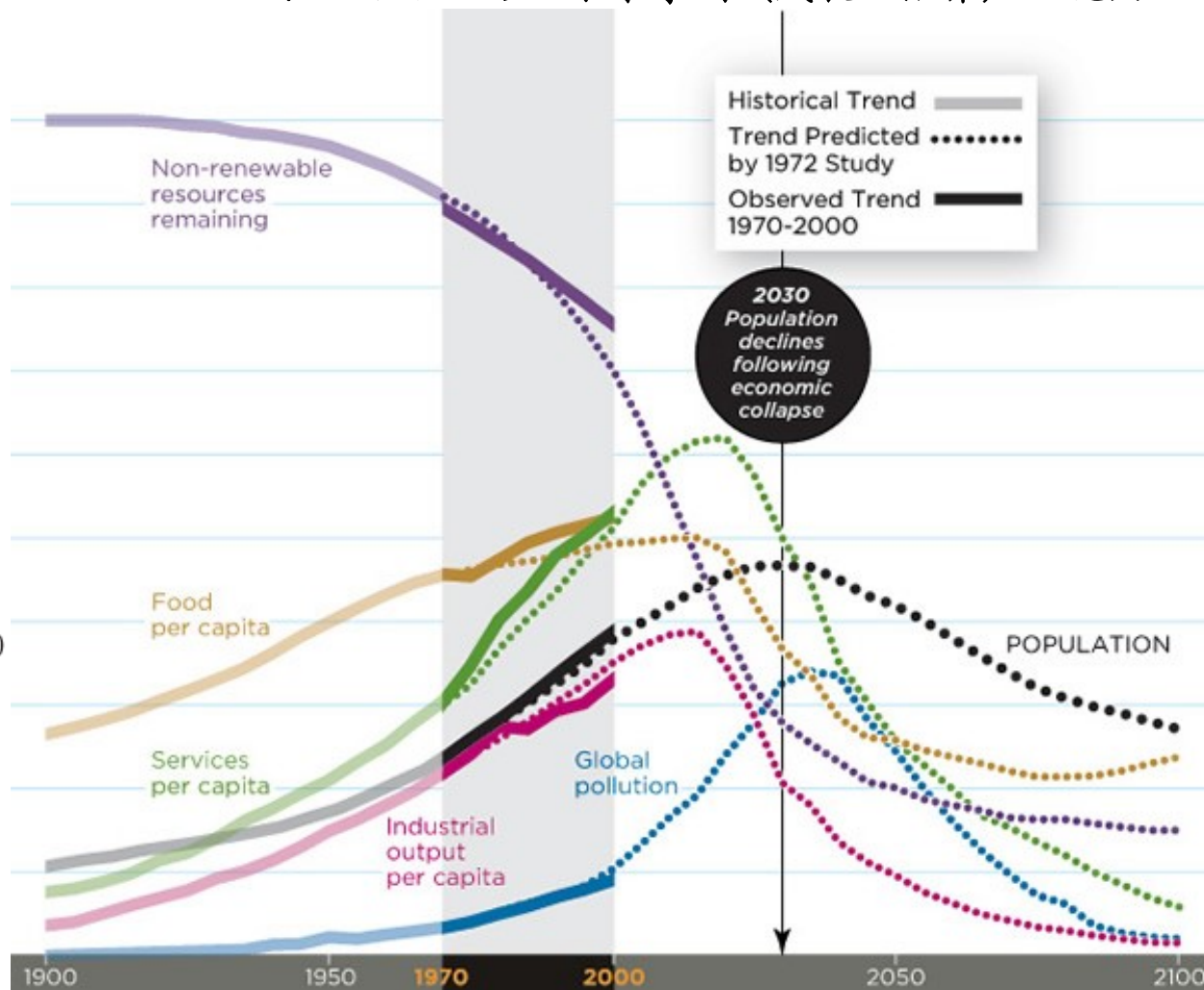
★ゴール1～15を実現する。

16. 平和的で包摂的な社会とすべての人の司法へのアクセスの実現、あらゆるレベルで効率的で説明責任ある能力の高い行政機構の実現。
17. 持続可能な開発への地球規模のパートナーシップの強化。

そもそもSDGsは何のため？ 「豊かな地球」を次世代に引き継ぐため



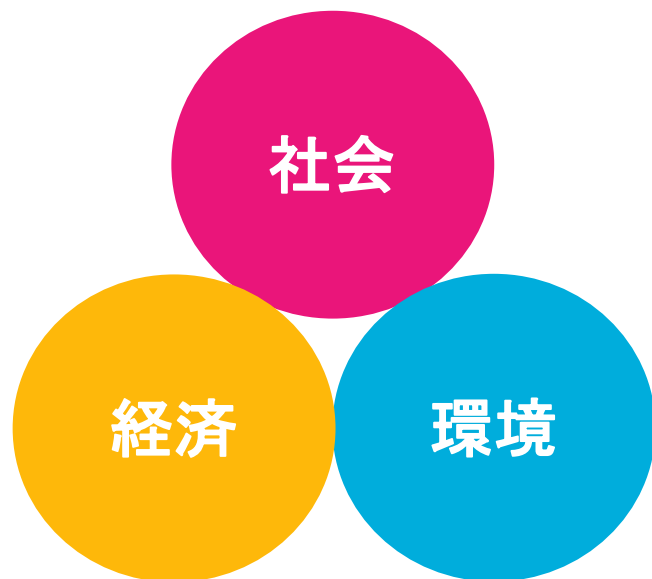
このままでは、メドウズらの未来予測（成長の限界）が現実



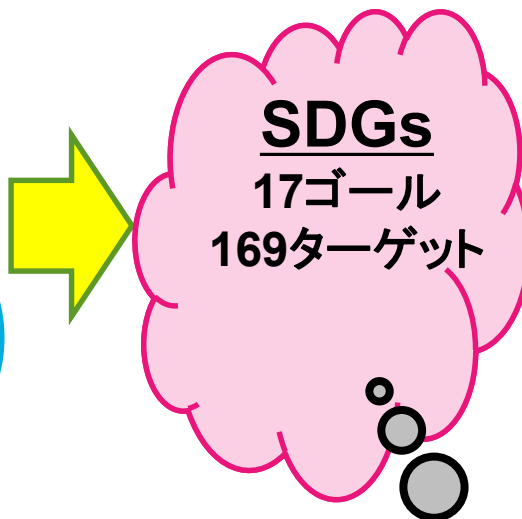
我々の世界を変革する

★世界の貧困をなくす

★持続可能な世界を作る



持続可能な開発の
三側面を統合



普遍性

途上国だけでなく
先進国も実施

包摂性

誰も取り残さない

統合性

縦割りを排し
分野横断的に

強靱性

強くしなやか

全員参加型

あらゆるセクター
が参加

開発資金トレンドの変化(FFD3)

ODA→民間資金と途上国の自国資金へ

「共通だが差異ある責任」から

「共有された責任」へ？

SDGsをめぐる日本の 関係セクター図

政府セクター

非営利セクター

SDGs実施指針
2016年12月12日 承認



本部長：安倍総理

SDGs推進本部
首相官邸。
構成員＝全閣僚
幹部会＝全省庁局長級

省庁間連絡会議
(全省庁、課長級)

事務局

外務省地球規模
課題総括課

事務局

経産省

総務省

その他の
省庁

環境省

SDGs推進
円卓会議

市民社会

開発・環境・貧困・障害・災害等

SDGsジャパン

アカデミア、調査研究

国連大学、ヒューチャーアース、
SDSNジャパン、IGES、他

民間セクター

課題：CSR, ESG投資, 責任あるサ
プライチェーン、等

グローバ
ル・コン
パクト

その他の民
間セクター中
心フォーラム

SDGsを推進する日本の市民社会ネットワーク 「SDGs市民社会ネットワーク」(SDGSジャパン)

SDGs(17目標、169ターゲット、230余指標)

貧困・格差

持続可能な経済

環境

平和・ガバナンス

協力・連携

提言
行動

啓発
普及

連携
協力

調査
研究

提案
助言

ガバ
ナ
ンスの
仕組み

社員総会

ガバナンス:理事会
(代表理事・専務理事・理事)

市民活動団体会員

連携・協力会員

一般正会員

企業会員

ネットワーク正会員

団体会員

情報会員

事務局

事業ユニット

事業の
仕組み

開発 保健、教育、
開発資金 etc.

環境 気候変動、
生物多様性、etc.

国内貧困・格差

地域・地方創生

社会的責任 etc.

(一社)SDGs市民社会ネットワーク

日本では：民間セクターの 活発な動き

イノベーション
社会的責任

貧困の解消
持続可能な開発
どうプラスにもっ
ていけるか？

グローバル
コンパクト

OPEN
2030

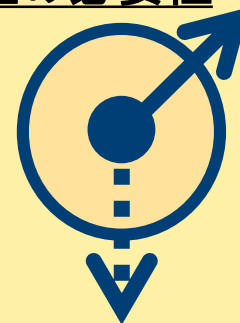
SHIP

双方の価値観を追求し
て、様々なイニシアティ
ブが立ち上がっている。
(例)

コーポ
卓会議

SDGs360度検証の必要性

ある社の取り組み
が、ゴールXの達
成には貢献する
が、ゴールYには
悪影響を与えると
したら？



アウトサイド・インの発想の有無

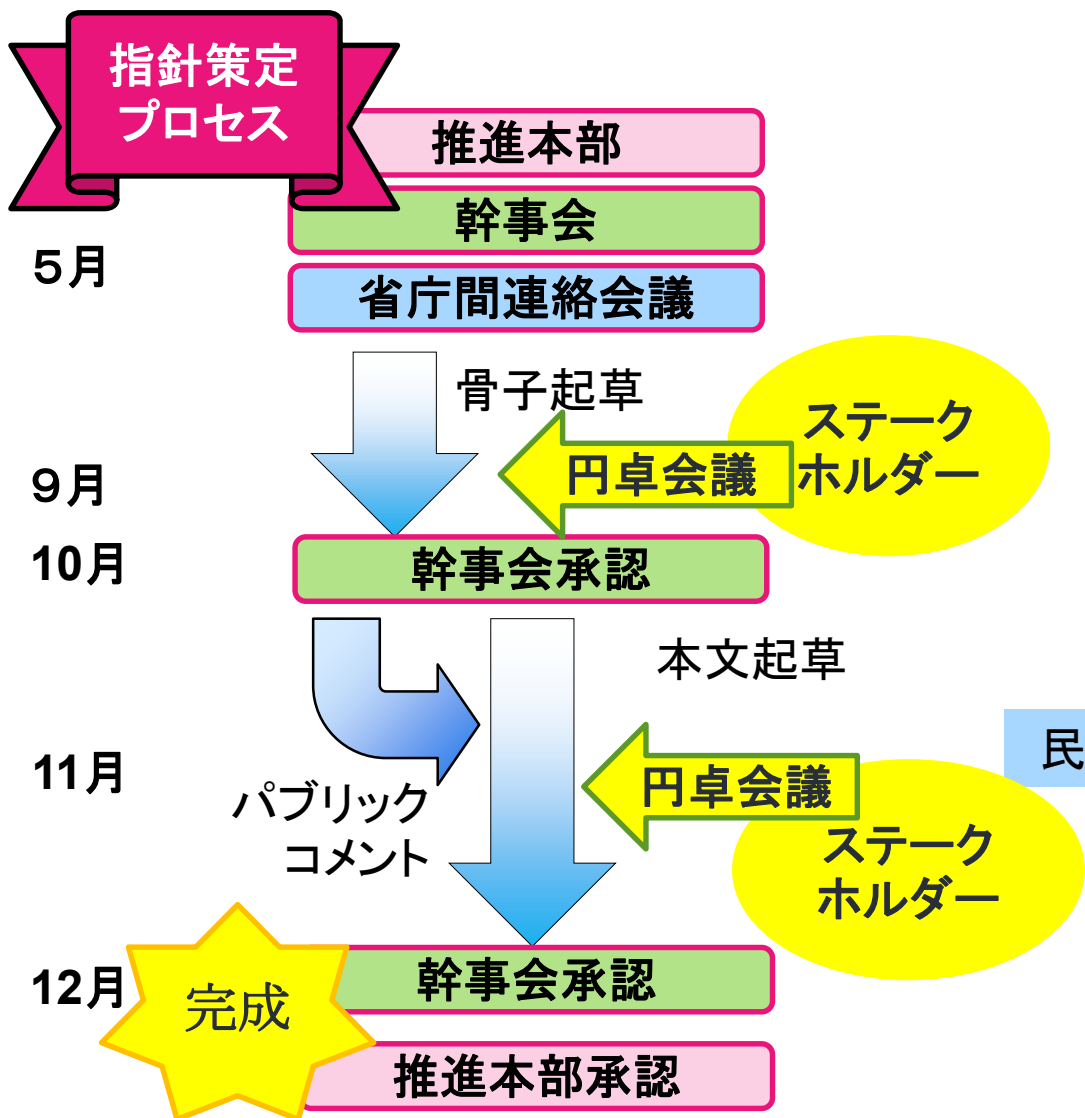
- 現状のトレンド(CSR, CSV, ESG投資、「ビジネスと人権指導原則」を超えて
- SDGsのおおもと(地球の限界)に照らして考える必要性
- 「大量生産・大量消費」の資本主義を乗り越える視点の有無

マイナス
をどう減
らすか

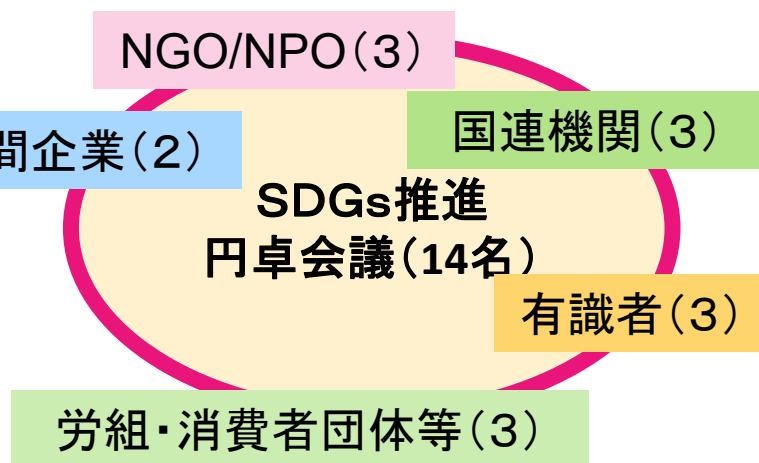
市民社会は、「なんでもSDGsへの貢
献」の風潮にどう向き合うか

社会的責任
イノベーション

日本政府もSDGs推進本部を設立 昨年12月にSDGs実施指針を策定



推進体制



HLPFに向けて: 市民社会は どう変革をもたらすか

SDGs実施指針 「SDGs時代もこれまで通り」

円卓会議プロセスを踏まえてできた「SDGs実施指針」: 2016年12月に策定

良い点

市民社会を一定高く位置付けた
マルチ・ステークホルダープロセス

SDGsの実施原則に普遍性、包摂性、参加型、統合性、透明性などが明示。
SDGsの主流化: 主要な政策形成においてSDGsとの関係を検討することを明示。

課題

優先政策(8分野): 各省庁が提出した既存の政策の羅列=SDGs達成のための新たな政策・プログラムがない

現時点では、SDGs達成のための独自予算がない

日本のSDGs達成のための緊急4課題: 市民社会は「貧困・格差」「ジェンダー」「地域再生」「防災と気候変動」の4分野について緊急に新たな政策形成が必要と提言。

HLPFに向けた日本の 自発的国別レビューのビジョン

外務省地球規模課題総括課によると

- 市民社会との対話(5月11日)
- SDGs推進円卓会議開催(5月22日)
- 5か所でタウンミーティング実施
- SDGs推進本部を開催して日本の国別報告書を承認
- 発表において、市民社会やその他のステークホルダーを参加させる

◆ **SDGsジャパン:** 「市民社会シャドーレポート」を作成中。(内容: 短い全体レポートと各分野の状況レポート)

※本年自発的レビューを行う他国の状況: インドネシア、マレーシアなどは政府と市民社会が協働して臨む